

3 節 スクーリング

I スクーリングとは

スクーリングとは

スクーリング（面接授業，schooling）とは，履修方法「SR」または「S」で単位修得するために受講する，担当教員による集中講義です。

※1科目あたり2～4日間連続（単位数によって異なる）の集中講義。

※受講料は受講申込後にその都度納入いただきます（スクーリングを受講する頻度は各々異なるため，スクーリング受講料については授業料とは別に設定しております）。

※下記の詳細につきましては，該当ページをご覧ください。

【スクーリングにおけるルール】：p. 192～

【スクーリングの流れと留意事項】：p. 195～

※スクーリングに関するメールでのお問い合わせ
us@tfu-mail.tfu.ac.jp（スクーリング係）

スクーリングのメリット

【内容理解】担当教員の講義を聞くことで，科目の内容についての考えを深められる。

【レポート】1）教科書を読むポイントがわかり，論述式レポートをまとめやすくなる。

2）対象の科目・課題については，スクーリング受講者専用「別レポート」（p. 18～19参照）の提出が可能となる。

【卒業】卒業に必要なスクーリング単位が修得できる。

【やる気】共に学ぶ学友ができて，在宅学習の励みとなる。

スクーリングの形態

下記のさまざまな形態で実施しております。通信教育での学習においては，教員や学生同士が交流できる数少ない機会であるため，大学の雰囲気や味わえる対面授業がもっとも効果的であると考えられます。しかし，会場まで何回も足を運ぶことが難しい方などは，ご都合に合わせて選択し，受講してみてください。

1) 通常スクーリング (対面受講型)

本学または他会場で、担当教員の講義を直接受講するものです。

2) ビデオ・スクーリング (ビデオ視聴型)

- ・過去に録画した講義を、別の日程・会場にて受講するものです。
- ・法規上「放送授業」となります。卒業要件のスクーリング単位に算入できるビデオ・スクーリング受講によるスクーリング単位は10単位分までです (p. 192参照)。
- ・該当科目：『試験・スクーリング情報ブック』でVTRと記載の科目
- ・申込方法・スクーリング受講料：通常スクーリングと同じ

3) オンデマンド・スクーリング (在宅受講型)

- ・過去に録画した講義を、Web上で受講するものです。
- ・インターネットに接続されているパソコンが必要です (スマートフォン、タブレット不可)。
- ・「TFUオンデマンド」(5章 p. 212参照) にアクセスし、指定期間内の任意の時間に視聴、確認テストの解答、掲示板への発言、スクーリング試験の解答などを行います (詳細は p. 21や5章1節参照)。

4) 単位互換協定にもとづくスクーリング

下記①②の授業科目を受講・単位修得した場合、本学通信教育部の修得単位に算入できる制度です (詳細は、p. 62参照)。

- ①産業能率大学自由が丘キャンパス (東京都世田谷区) において週末に実施されている授業科目。
- ②本学通学課程 (仙台市青葉区国見) において平日に開講されている授業科目。

開講日程 ・会場

- 1) 『試験・スクーリング情報ブック』4部を参照。
- 2) 詳細や申込案内は、機関誌『With』4部を参照。

※仙台会場は、「仙台駅東口キャンパス」が主な会場です (「国見キャンパス」や「ステーションキャンパス館」でも開催することがあります。その場合は機関誌『With』や受講許可証で案内いたします)。

開講期

- 1) 「春期Ⅰ」「夏期Ⅱ」など年間をいくつかに分けています。
- 2) スクーリングの事務処理 (受付・納入依頼書発行・受講許可証発行・

成績発送)は、区分した開講期ごとにまとめて行います。

時間割

- 1) 1コマ(1時限)あたりの授業時間は90分。
- 2) 休憩時間10分(東京サテライトは15分)、昼休み50分。

時間割の一例(仙台会場・8コマのスクーリングの例)

(1日目)		(2日目)	
1コマめ	10:30~12:00	5コマめ	9:10~10:40
(昼休み)		6コマめ	10:50~12:20
2コマめ	12:50~14:20	(昼休み)	
3コマめ	14:30~16:00	7コマめ	13:10~14:40
4コマめ	16:10~17:40	8コマめ	14:50~16:20

単位修得方法

履修方法「SR」:スクーリングの合格と併せて、レポート全課題の合格も必要です。

※レポートの免除はありませんが、対象の科目・課題で「別レポート」を利用できます(p.18~19参照)。

履修方法「S」:スクーリングの合格のみで単位を認定します。

II スクーリング単位

スクーリング単位とは

- ・スクーリングを受講した科目において、スクーリング試験の合格およびレポートの合格などにより最終的に「科目単位」を修得した際に、「科目単位」とは別に付与される単位。
- ・通信教育部を卒業するためには、「科目単位」のほかに「スクーリング単位」も下表のとおり修得することが法令で定められています。

【卒業までに必要なスクーリング単位】

1年次入学者	2年次編入学者	3年次編入学者
30単位以上	22単位以上	15単位以上

「ビデオ・スクーリングによるスクーリング単位」
上記にそれぞれ10単位までは算入可。

**スクー
リング
単位数**

「スクーリング単位数」は、受講した授業の時間数によって、科目ごとに決められています（「開設授業科目一覧」（p. 49～52, 64～67）参照）。

【スクーリング単位の種類・単位数】

一般の講義・演習科目	特講などの「S」科目	実習・実技科目 (英語・情報処理・心理学実験など)
12コマで 2単位 (6～8コマで1単位)	8コマで 1単位	12コマで 1単位

※2018年度以降スクーリング単位の計算方法が変更になる可能性があります。

「科目単位」修得時の具体例としては、下記のようなものが挙げられます。

具体例	科目単位	スクーリング単位
「福祉社会学」を履修方法「SR」 (レポート+スクーリング)で単位修得	4	2
「障害者福祉論」を履修方法「R」 (レポート+科目修了試験)で単位修得	4	0
「特講・福祉心理学4」を履修方法「S」 (スクーリング)で単位修得	1	1
⋮	⋮	⋮
卒業要件（1年次入学者の場合）	124単位	30単位

※上記のように、スクーリングを受講し単位を修得した場合は、「科目単位」とは別に「スクーリング単位」が付与されます。

Ⅲ スクーリングにおけるルール

受講条件

スクーリングは、下記の条件を満たしている場合に受講できます。

1) 申込締切日までに、受講年度の学費を納入済みで、受講希望科目の履修登録を行っていること。

※受講希望科目の履修登録をしていない方は、6月上旬と11月中旬（10月生のみ2月上旬も）ならば追加履修登録（p. 83～84参照）をしたうえで、スクーリングを申込みことができます。

2) 受講科目のスクーリング受講料を期限までに納入していること。

※スクーリングは、一部の科目*を除き、事前課題はありません。科目修了試験とは異なり、レポート提出の有無にかかわらず、受講することができます。

（*「コミュニケーション英語」「社会福祉援助技術演習」「精神保健福祉援助演習」「各実習事前事後指導」など）

※入学年度のカリキュラムに該当する科目のみ受講が可能です。科目の前についている下記のマークにてご確認ください。

■＝2012年度以降（編）入学者 ★＝2009～2011年度（編）入学者

◆＝2008年度以前（編）入学者

申込方法

「スクーリング受講申込みハガキ」（機関誌『With』巻末）の提出、または「TFUオンデマンド」（Web上）での操作を、申込締切日までに行います（詳細はp. 196参照）。

受講料

・講義科目はスクーリング単位1単位あたり5,000円または7,000円

・演習、実習、実技科目はスクーリング単位1単位あたり10,000円

※講義科目は、2021年度から1単位あたり7,000円に統一します。

※納入方法はp. 197「納入依頼書」参照。

受講科目の変更

受講申込後の受講科目の変更は原則としてできません。

※本学が受講料の「納入依頼書」を発行する前であれば、通信教育部宛て

に事前に電話で確認したうえで書面（様式任意）にてお申し出いただくことにより、変更を受付けします（同じ開講期での変更に限る）。

受講科目 の取消

受講申込後に取消す場合は、「スクーリング受講科目取消確認書」（巻末様式12）を通信教育部宛てに郵送してください（返金手続き不要の場合はFAXでも可）。

※「スクーリング受講科目取消確認書」は「開講期」毎に1枚使用してください。

※返金手続きについては下記を参照してください。

受講料の 返金

受講料納入後に、受講の取消や欠席をする場合、下記①②の手続きにより、事務手数料500円を差し引いた金額を、ご希望の口座に返金します。

①スクーリング1日目の開始時間までに、電話orメールorFAXにて受講取消の旨を通信教育部宛てに連絡。

②「スクーリング受講科目取消確認書」（巻末様式12）を通信教育部宛てに郵送。

※各欄への記入の他、「払込受領書」（原本）の貼付が必要。

※郵送前に、コピーをお手元に残してください（郵便事故等で紛失した場合に提出いただきます）。

※「払込受領書」は、コンビニエンスストアで受け取り後、大切に保管してください。

※記入は正確・明瞭をお願いします（不明瞭箇所があるなどで再振込になった場合、事務手数料500円の他に振込手数料を差し引くことがあります）。

※できるだけ早く提出してください（欠席後、半年以上経過した場合は返金しません）。

【その他、返金における注意事項】

- 事前に、取消・欠席の連絡がなかった場合は返金しません。
- スクーリングの一部でも受講された場合は返金対象外です。
- 返金までは、約3カ月を要します（通知はしませんので、記帳などでご確認ください）。
- 同一開講期の一部科目の受講を取り消す場合

- ・一度全科目分の受講料を納入し、その後、取り消す科目分の返金手続きを行ってください。
- ・「スクーリング受講科目取消確認書」に貼り付けて提出した「払込受領書」の返却をご希望の場合は、その旨を書面（様式任意）にてお申し出ください（返信用封筒（82円切手貼付、宛先明記）を同封）。受領金額分に訂正した「払込受領書」を返送します。
- 事務手数料500円分の領収書は発行しません（やむをえず必要な方は、その旨を書面（様式任意）にてお申し出ください（返信用封筒（82円切手貼付、宛先明記）を同封）。
- インフルエンザ関連等を理由とする取消の場合、事務手数料は無料とします。

IV スクーリングの流れと留意事項

1 受講科目の選択

- 1) 履修登録をしている科目の中から、ご自身の都合に合わせて選択し、科目ごとに申込みを行います（次ページ「2 スクーリング受講申込み」参照）。
- 2) 開講予定が2回以上設定されている科目は、いずれか1回の受講で結構です。
- 3) 1回のスクーリングにつき、2～4日間連続で全コマ出席のうえスクーリング試験を受験する必要があります。
- 4) 開講時間が重なっている科目は、いずれか1つしか受講できません（同一日でも開講時間が重なっていない科目は受講が可能）。
- 5) 卒業を目指す方は、スクーリング単位（p. 191～192参照）を規定数以上修得することが必要なので、計画的にスクーリング受講することが重要です。

※一度スクーリング評価が合格となった科目は申込み不可です。

※科目修了試験が合格となっている、履修方法「R or SR」の科目については申込み可能です。スクーリング評価が合格となることで、スクーリング単位の修得が可能です。

2 スクーリング受講申込み

申込要領

- ・申込案内は、開講期約1～3カ月前発行の機関誌『With』に掲載します。
- ・「4 スクーリング受講にあたって」(p. 198～201参照)をご了解のうえお申込みください。
- ・申込み方法は下表のいずれか。

申込方法	申込締切
郵送：スクーリング受講申込ハガキ (『With』巻末)	指定の申込締切日までに必着
Web上：「TFUオンデマンド」での操作 (※p. 214～215参照)	指定の申込締切日までの操作完了

●申込みハガキの記入要領(例)

春期スクーリングⅣ 受講申込みハガキ

学籍番号 14TW991

氏名 福社 歩美

以下のとおり、春期スクーリングⅣ受講を申込みます。

選択	科目名	開講日	開講地	申込料	受講料
<input checked="" type="checkbox"/>	社会福祉総合実務演習	5/1～5	仙台	<input type="checkbox"/> 2年以じ	0.00円
<input checked="" type="checkbox"/>	認知心理学 VTR	5/3～5	配信VTR	<input type="checkbox"/> 2年以じ	0.00円
<input checked="" type="checkbox"/>	臨床心理学	5/3～5	仙台	<input type="checkbox"/> 2年以じ	0.00円
<input checked="" type="checkbox"/>	社会福祉総合実務演習 VTR	5/7～8	配信VTR	<input type="checkbox"/> 2年以じ	0.00円
<input checked="" type="checkbox"/>	社会福祉の基礎 VTR	5/7～8	配信VTR	<input type="checkbox"/> 3年以じ	5.00円
<input checked="" type="checkbox"/>	社会福祉総合実務Ⅱ VTR	5/7～8	配信VTR	<input type="checkbox"/> 2年以じ	5.00円

(ハガキ裏面)

学籍番号、氏名、「申込欄」に○印を記入してください。

(ハガキ表面)

62円(5月までは52円)切手を貼付し、住所・氏名を記入してください。

※氏名バーコードは、ハガキ表面or裏面の指定箇所に貼付してください(不足しましたら、通信教育部へご連絡ください)。

受講許可証

受講条件(p. 193)を満たした申込者へ、「受講許可証」を送付します。
※スクーリング開始5日前までに未着の場合は、通信教育部までご連絡ください。

※下記の場合、「受講許可証」の有無にかかわらず、受講はできません。

- ・受講料を期限までに納入しない場合。
- ・事前課題の課されている科目において、課題を期限までに提出しない場合。

納入
依頼書

受講条件（p. 193）を満たした申込者へ、受講料の「納入依頼書」を送付いたします（「受講許可証」とは別便）。

※申込期限の1週間後までに未着の場合は、至急通信教育部までご連絡ください（その後のご連絡の場合は受講できません）。

※「納入依頼書」を使用し、期限内にコンビニエンスストアにて受講料を納入してください。

3 スクーリング準備・確認

事前準備

1) 宿泊の手配

スクーリング期間中に宿泊を必要とされる方は、各自で手配してください（『試験・スクーリング情報ブック』7部参照）。

2) 学割証の申請

正科生は、スクーリングの受講に際し、JR線を片道101km以上乗車される場合、学割証を利用できます。ご希望の方は、各自で申請してください（p. 276～277参照）。

3) 面接授業出席依頼状・出席証明書発行願の申請

スクーリングの受講に際し、勤務先に対して大学からの出席依頼状（・証明書）が必要な場合は、「スクーリング（面接授業）出席依頼状（・証明書）発行願」（巻末様式11）をご提出ください（返信用封筒〔82円切手貼付・返信先住所明記〕を同封）。

4) 予習

予習により、学習が深まり、学習効果の向上が期待できます。

『試験・スクーリング情報ブック』に記載の、「スクーリング講義概要」および「スクーリング事前学習」を参考に、あらかじめ教科書やレポート課題に目を通して、考察や用語の確認などを行うことをお勧めします。

当日の準備・確認

1) 持参物

- ①学生証、受講許可証
- ②筆記用具
- ③教科書（受講科目の教科書は忘れずにご持参ください）

- ④ 『試験・スクーリング情報ブック』『学習の手引き』『レポート課題集』『With』で必要と思われるもの
- ⑤ 健康保険証（急病の時のため）、常備薬（必要に応じて）
- ⑥ 「講義概要」（『試験・スクーリング情報ブック』参照）で指示されたもの（「心理学実験」で電卓、スポーツ科目で運動着や靴etc）
- ⑦ スリッパ（新潟・長岡など土足禁止の会場。本学国見キャンパスでは「マルチメディア教室」）
- ⑧ 羽織る衣類など

※教室の冷暖房については、体感温度に個人差があるなど、すべての方に快適な室温とすることは困難です。羽織る衣類などの持参、およびエアコンの吹き出し口付近を避けるなど、ご自身での調節にもご協力ください。

2) 開始時間・会場

機関誌『With』4部にてご確認ください。

※仙台会場・8コマのスクーリングの標準的な時間割は、p. 191参照。

4 スクーリング受講にあたって

会場・ 交通手段

【仙台会場】

- ・「仙台駅東口キャンパス」が基本です。教室は当日1階掲示板にてご案内します。
 - ※「国見キャンパス」「ステーションキャンパス館」を使用する科目や、急遽変更となる場合があります。『With』4部にて必ずご確認ください。
- ・公共交通機関を利用してください。
 - ※「仙台駅東口キャンパス」「国見キャンパス」「ステーションキャンパス館」いずれも駐車はできません。
 - ※身体的な理由により、自動車でないとお通学が困難な方は「配慮希望申請用紙」（巻末様式13）をご提出ください（返信用封筒（82円切手貼付・返信先住所明記）を同封）。審査のうえ、駐車許可・不許可を連絡します。
- ・自転車・バイク（90cc以下のみ）は「国見キャンパス」「ステーション

キャンパス館」のみ駐輪が可能です（駐輪場は『試験・スクーリング情報ブック』7部の「校舎等配置図」を参照）。

【他会場】

- ・『試験・スクーリング情報ブック』4部や『With』4部にてご確認ください。
- ・交通アクセスや駐車場の有無は『試験・スクーリング情報ブック』6部「会場案内」にてご確認ください。

出席確認

- ・授業の開始時間前（午前・午後）に教室にて行います。
- ・受講許可証（または学生証）を、スタッフにご提示いただきます。

欠席・遅刻・早退の扱い

スクーリング試験の受験が不可となるため、当該スクーリングにおいては単位修得できなくなります（公共交通機関の遅延を除く）。

※公共交通機関の遅延の場合は1～2コマ以内を原則とし遅刻が認められる場合があります。ただし、遅刻による補講や試験への配慮はできませんので、ご注意ください。

受講上の注意

- 1) 携帯電話の電源はお切りください。
- 2) 私語など授業の進行および他の学生に迷惑になる行為はご遠慮ください。
- 3) 貴重品は各自で管理してください。授業終了後の忘れ物にもご注意ください。
※持ち物には可能な限りご記名ください（特に教科書やノート）。
- 4) 会場への入室は受講する学生本人のみが可能です（障害を有する方の支援者、介助犬等を除く）。
- 5) インフルエンザ・ノロウイルス・はしかなど伝染性の疾患にかかっている方のスクーリング受講はご遠慮ください（p. 28も参照）。
- 6) 会場の電源は使用禁止です。
- 7) 講義の録画・録音は、身体等に障がいや有する方で事前に申告し許可を得た方のみが可能です。
- 8) その他、p. 202～203の「キャンパス・マナー」をお守りください。

講義の撮影・録画のお断り

機関誌『With』4部「スクーリング講義科目一覧」に、「※録画予定」と記載の科目は、オンデマンド・スクーリングやビデオ・スクーリング実施などのために、講義を録画させていただく科目です。

受講中の姿や、発言時の音声も使用される場合があることをご了承のうえ、スクーリングをお申込みください。また、できるだけ映りたくない方は、左右端や後方の座席の使用等、ご協力をお願いいたします。

スクーリング時の学習相談

学習および資格取得にあたっての質問・相談に応じています。職員やスタッフにお気軽にお声掛けください。

仙台駅東口キャンパス：通信教育部事務室にて職員が対応いたします。た

だし、担当職員不在の場合は、後日の回答になることもあります。

その他の会場：会場にてスタッフが対応いたします。本学卒業生等に委託しているため、後日の回答になることもあります。

体調が悪くなったとき

体調不良により受講が困難な状況になりましたら、職員やスタッフにお声掛けください。

仙台駅東口キャンパス

- ・保健室にて一時的に休憩していただくか、医療機関の案内をいたします。
- ・薬の配付はしません（持病のある方、体調に不安のある方は、常備薬などをご持参ください）。
- ・軽度の擦り傷であれば、救急セットでの対応が可能です。

その他の会場

基本的に休憩する箇所はありません。スタッフや教員にご相談ください。

※AED（自動体外式除細動器）は仙台駅東口キャンパスに1台（1F正面出入口脇）、国見キャンパスに4台（正門守衛室・保健室・学生生活支援課・福聚殿）、ステーションキャンパス館に1台（3Fカウンター）設置しております。

別レポート

スクーリング受講者が、論述式の通常レポートに替えて提出することができる、客観式（○×式、穴埋め式など）のレポートです。

- ・Web版と郵送版があります（できるだけWeb版をご利用ください）。
- ・詳細および対象課題 p. 18～19参照。

スクーリング試験

スクーリング最終時間に実施する試験です（実験・実習指導科目などを除く）。

- ・A4サイズ解答用紙に論述式での解答となります（一部例外有り）。
- ・各科目の到達目標や持込の可・不可は、『試験・スクーリング情報ブック』に掲載されています。

5 スクーリングの評価・評価基準・評価通知**1) スクーリングの評価・評価基準**

- ・最終コマに実施する「スクーリング試験」等、各科目の評価基準（『試験・スクーリング情報ブック』の「スクーリング講義概要」参照）に基づき評価されます。
- ・「優・良・可」の評価が合格、「不可」の評価が不合格となります。

2) 評価通知

各開講期のスクーリング最終日から1カ月以内に、郵送で通知します。

※それ以外（電話やメール等）での問い合わせには応じられません。

※結果に疑問のある方は、通知の到着後1週間以内に書面（郵送・メール・FAX）にてお申し出ください。

●スクーリング試験が合格（優or良or可）の場合

- ・すべてのレポート課題にも合格することで、科目単位とスクーリング単位が修得となります。
- ・履修方法「R or SR」科目においては、科目修了試験の受験はできません。

●スクーリング試験が不合格（不可）の場合

単位修得のためには、再度スクーリングを受講してスクーリング試験に合格するか、履修方法「R or SR」の科目であれば科目修了試験を受験して合格する必要があります（科目修了試験での合格の場合、スクーリング単位は修得できません）。

6 レポートとの関係

スクーリング評価が合格でも、レポートの免除はありません。

※各科目、単位数分のレポートへの取り組みが必要です。

※対象の科目・課題について、別レポート（p. 18～19参照）の利用が可能です。

7 スクーリング受講後の復習

下記のような復習を行い、講義内容をさらに深め、知識を自分のものにするなど、スクーリング学習の成果を確かなものにしましょう。

- ・受講後、できるだけ早い時期に「別レポート」や「通常レポート」に取り組む。
- ・講義で紹介された参考図書を読む。
- ・「到達目標」（『試験・スクーリング情報ブック』の「スクーリング講義概要」参照）の達成を目指してみる。
- ・スクーリングで得た知識を、職場や家庭での実践に役立ててみる。

※「TFUオンデマンド」上の「予習・復習コンテンツ」では、各科目の「別レポート」の問題の一部に取り組むことができます（ランダムに数問が出題）。知識の確認にご活用ください。

8 キャンパス・マナー

本学のキャンパスを利用されるうえでは、以下のようなことにご留意ください。みなさまのご協力をお願いします。

1) 会場でのマナー

- ①ごみの分別（ペットボトル・缶・びん用、その他のごみ用）にご協力ください。
- ②喫煙は、喫煙所を確認のうえ行ってください。
※仙台駅東口キャンパスは、建物内全面禁煙です（喫煙所は屋外）。
- ③学生への電話の取り次ぎや、呼び出しには一切応じかねます。
- ④受講教室、および自習室等の共用スペース以外への立ち入りはご遠慮ください（学生会活動など通信教育部が特に認めたもの以外の個人的な理由による教室の貸出や、体育・音楽施設の利用はできません）。

2) 悪徳商法やカルト集団勧誘への備え

他大学では、スクーリングの際にキャンパスに集う学生を狙った悪徳商法や、カルト集団の勧誘の事例が報告されています。十分に注意するようにしてください。

万一、学内でトラブルに巻き込まれたら、まず通信教育部に連絡いただくとともに、自治体の消費生活センター等の消費生活相談窓口にご相談してください。

3) セクシュアル・ハラスメント防止について

本学では、セクシュアル・ハラスメントのない安心で快適なキャンパスにするために、ガイドライン、防止対策、被害者救済の措置などを定め、その防止に積極的に取り組んでいます。各人が相手の人格を尊重し、快適なキャンパスライフを送りましょう。

セクシュアル・ハラスメントとは、行為者の意図にかかわらず、相手の意に反する不快な性的行動や言動をいいます。その行動や言動によって、修学環境を著しく阻害することになれば、セクシュアル・ハラスメントとなります。たとえ、冗談のつもりであっても、相手の気持ちを考えない一方的な言動や行動は、セクシュアル・ハラスメントです。

予防と再発防止のために、下記のことを参考にしてください。

- ・嫌なことは、はっきりと意思表示すること。
- ・滞在先の場所や電話番号等の個人情報をむやみに教えない。
- ・もし被害にあったら、信頼できる人に相談しましょう。一人で我慢しないこと。
- ・本学では保健室、学生相談室でキャンパス内のセクシュアル・ハラスメントの相談に応じております。相談内容は、相談者の了解を得ずに部外者に漏れることは一切ありませんので、ご安心ください。

9 大地震の発生時について

下記の点に注意してください。

①授業中に大地震があったら

- ・あわてて外に飛び出さない。一斉に出口に殺到しない。
- ・頭上からの落下物に注意する。揺れがおさまったら教職員や緊急放送の指示に従い、校舎の外に避難する。

②エレベーター内で大地震にあったら

- ・止まった階ですみやかに降りる。
- ・万一、エレベーターに閉じ込められたら、インターホンで連絡する。

③自習室や図書館で大地震にあったら

- ・本棚の下敷きにならないよう、机の下に避難する。揺れがおさまったら、教職員や緊急放送の指示に従い、校舎の外に避難する。

④校舎外で大地震にあったら

- ・頭上からの落下物に注意する。
- ・建物の近くに寄らずに、広い場所に避難する。

アドバイス

スクーリングに出席してみよう

日頃、自宅で教科書と向き合っている学生の皆さんにとって、スクーリングはその科目内容に対する理解を深める絶好の機会となります。

ひとりで教科書を読んでレポートを書くのが難しい科目は、スクーリングに出席して、先生方からの講義を聴いてみましょう。きっと、レポートで何をまとめればよいか、ポイントが見えてきます。

スクーリングを受講した皆さんからも、次のような感想をいただいています。

*教科書や参考書だけではわからなかった内容が直接講義を受けることによって理解でき、レポートが書きやすくなった。

*大学に通っているという実感とともに、校舎での毎日の講義が楽しみで、そして、先生の声が私自身にしみいってくようで充実感に満ちていた。

*子育てや主婦生活とは違った時間が持て新鮮だった。

*年代を超えた仲間に出会えたことで頑張ることができ、レポートを書くヒントも見つけ、今後の学習に役に立てた。先生の顔も見ることができて、なんか嬉しかった。

*同じ学科の方々や同じ科目の勉強をしている方々と話す機会ができて嬉しかった。

仕事や家庭を離れることが難しい方も多いとは思いますが、1科目でも都合をつけて、是非スクーリングに参加してみてください。先生方の講義を直接聴くことで、また、学生同士の出会いを通じて得られるものはきっとあります。

スクーリング受講者の感想は、通信教育部ホームページ「学生の声」、『With』などでご紹介しています。ご参照ください。